



平和祈念滋賀県戦没者追悼式

戦争の悲惨さ、平和への願い

今の平和は戦没者の尊い命のもとにある

滋賀県遺族会副会長 澤本長俊

9月3日、滋賀県主催の「令和4年平和祈念滋賀県戦没者追悼式」が米原市立双葉中学校3年

の「令和4年平和祈念滋賀県戦没者追悼式」が米原市立双葉中学校3年

の「令和4年平和祈念滋賀県戦没者追悼式」が米原市立双葉中学校3年

の「令和4年平和祈念滋賀県戦没者追悼式」が米原市立双葉中学校3年

の「令和4年平和祈念滋賀県戦没者追悼式」が米原市立双葉中学校3年

の「令和4年平和祈念滋賀県戦没者追悼式」が米原市立双葉中学校3年

の「令和4年平和祈念滋賀県戦没者追悼式」が米原市立双葉中学校3年

発行所
一般財団法人 滋賀県遺族会
滋賀県大津市京町4丁目3-28
(滋賀県厚生会館1階)
電話 (077)522-7227
FAX (077)522-7233

発行責任者
滋賀県遺族会会長
山川 芳志郎

その後、岩佐弘明滋賀県議会議長が、追悼の言葉を述べられ、戦没者への心からの哀悼の誠を捧げられました。

山川芳志郎滋賀県遺族会会長から追悼の言葉と、現在の平和で豊かな社会は戦火で尊い命を犠牲にされた戦没者の皆様のお蔭と感謝を述べられました。戦後77年が経過しました。戦後77年が経過し、戦争を知らない人が約9割、戦争の悲惨さ、愚かさという思いが薄れつつある今日、残された傷跡を再度見つめ直し、語り継いでいくため、風化防止委員会をつくり、未来永劫、戦争の怖さ、悲しさ、平和への思いが風化しないよう取り組んでいくと強い決意を述べられました。

平和へのメッセージで、北居和紗さんから、原爆の恐ろしさや滋賀県でも空襲があったことなどを発表されました。

また、現在も続くクライナ戦争の状況をみて、これまで平和講座などで聞いていた話より、誠を捧げられ、今の日本の平和と繁栄は、戦火の中で多くの犠牲になられた方々のもと、築かれていくことを忘れてはならないと戦没者の皆様への感謝を述べられました。

最後に、平和への思いを込めて、長浜小学校合唱団の皆さんによる合唱を聞かせていただきました。

この追悼式開催の意義、重要性を認識され、願う気持ちがある皆様が、平和を

平和への強い思いが伝わる、素晴らしいメッセージでした。

最後に、平和への思いを込めて、長浜小学校合唱団の皆さんによる合唱を聞かせていただきました。

この追悼式開催の意義、重要性を認識され、願う気持ちがある皆様が、平和を

平和への強い思いが伝わる、素晴らしいメッセージでした。

平和への強い思いが伝わる、素晴らしいメッセージでした。

最後に、平和への思いを込めて、長浜小学校合唱団の皆さんによる合唱を聞かせていただきました。

この追悼式開催の意義、重要性を認識され、願う気持ちがある皆様が、平和を

平和への強い思いが伝わる、素晴らしいメッセージでした。

最後に、平和への思いを込めて、長浜小学校合唱団の皆さんによる合唱を聞かせていただきました。

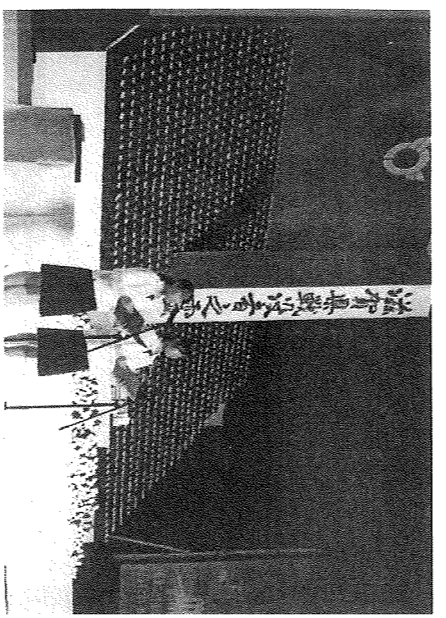
この追悼式開催の意義、重要性を認識され、願う気持ちがある皆様が、平和を

平和への強い思いが伝わる、素晴らしいメッセージでした。

最後に、平和への思いを込めて、長浜小学校合唱団の皆さんによる合唱を聞かせていただきました。

この追悼式開催の意義、重要性を認識され、願う気持ちがある皆様が、平和を

平和への強い思いが伝わる、素晴らしいメッセージでした。



米原市立双葉中学校3年 久保田真央 北居和紗

平和の目まで

今年も規模を縮小しての開催とはいえ、参列者の皆様が、今の平和な社会への感謝、戦没者の皆様への感謝の気持ちで伝わる、たいへん意義ある追悼式であったと思います。

平和メッセージ

今年も規模を縮小しての開催とはいえ、参列者の皆様が、今の平和な社会への感謝、戦没者の皆様への感謝の気持ちで伝わる、たいへん意義ある追悼式であったと思います。

今年も規模を縮小しての開催とはいえ、参列者の皆様が、今の平和な社会への感謝、戦没者の皆様への感謝の気持ちで伝わる、たいへん意義ある追悼式であったと思います。

この追悼式開催の意義、重要性を認識され、願う気持ちがある皆様が、平和を

平和への強い思いが伝わる、素晴らしいメッセージでした。

最後に、平和への思いを込めて、長浜小学校合唱団の皆さんによる合唱を聞かせていただきました。

この追悼式開催の意義、重要性を認識され、願う気持ちがある皆様が、平和を

平和への強い思いが伝わる、素晴らしいメッセージでした。

最後に、平和への思いを込めて、長浜小学校合唱団の皆さんによる合唱を聞かせていただきました。

この追悼式開催の意義、重要性を認識され、願う気持ちがある皆様が、平和を

平和への強い思いが伝わる、素晴らしいメッセージでした。

平和への強い思いが伝わる、素晴らしいメッセージでした。

とが、私たちにできる一つの方法だと考えます。

私も、昨年の平和講座の中に印象に残っている話があります。滋賀県でも空襲があり、学校からあつた田んぼの中にかくれた、という話です。

滋賀県は空襲が少なかつたとはいえ、死と隣り合

を感ぜました。

誰かが知っているウクライナ情勢。毎日テレビで見ると、戦争の資料の中で見た映像のように、恐ろしい光景です。話を聞いて、自分で想像するものとは

比喩にならないうらやましい思いが、今でも忘れられ

た。また、被爆した時刻のまま止まった時計、

「戦争の記憶が失われたとき、再び戦争が始まる」という言葉です。戦

争が私たちの生きるこの地球で今もなお繰り返さ

れているのです。私は「正義の反対はも

く下さい。どの国も自分たちが正しいと考え、自分たちの正義を守るために戦っていたように感じ

ます。私たちが生きるこの時代で一番大切な

は相互理解、そう思い

り良い社会を目指してい

く「ことだ」と思

北居 去年の平和講座

で、戦時中、長崎にお

れた方の話の中で見た

映像のように、恐ろしい

光景です。話を聞いて、

自分たちが思う平

和、それは「互いに意見

を出し合い、それぞれに

互いの意見を理解しよう

と知り、戦争の恐ろしさ

を感ぜました。

誰かが知っているウク

ライナ情勢。毎日テレビ

で見ると、戦争の資料の中

で見た方の話の中で見た

映像のように、恐ろしい

光景です。話を聞いて、

自分で想像するものとは

比喩にならないうらやま

しい思いが、今でも忘れ

られ、戦争がもたらすもの

は目に見える被害だけで

はなく、その奥に隠され

た心の傷や苦しみがまた

深いと思います。その戦

争が私たちの生きるこの

地球で今もなお繰り返さ

れているのです。私は「正義

の反対はもたない」と考え

ます。皆さん、今までの

者で行われた。

元会長、元日本遺族会評

議員)9月24日死去。81

歳。葬儀・告別式は近親

者で行われた。

やさなみ

「平和のよるこび展」開催

岡本勝一 守山市遺族会会長

と子どもたちが描いた戦争「展の一部をお借りした展示と、遺族会がある収集家よりお借りした「戦中・戦後の子供たちの遊び道具と教科書類」を展示しました。

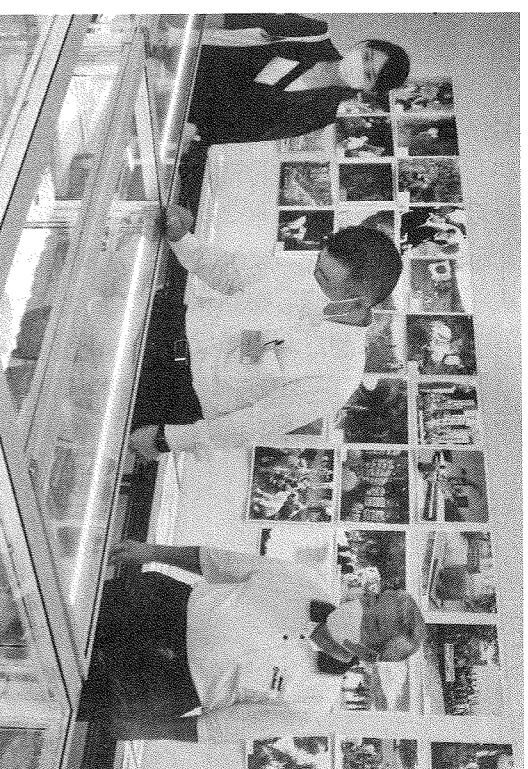
遺族会員の遺品の中には、軍隊手帳・軍服・日章旗の寄せ書き・出征時のほり旗・家族写真等があり、特に注目すべきは重属の戦没者のものとして「戦争の功績に対する褒賞状」まであり、これを見

中、今年も万全な感染防止対策を講じて「第30回平和のよるこび展」が8月3日、10日（9日休館）まで一週間、守山市民ホールにて守山市・守山市遺族会

共催で開催されました。通常展示エリアと特別企画展示エリアに分けて展示しました。

では、遺族会員が描いた絵がこんなに残っていたとは、私自身は絵を描いた覚えはないので大変感動しました。

1週間の入場者数は例年より少なく270名余でしたが、初日に小ホールで「クアライナからの留学生による講演会」が開催されたこともあり、その前後に100名余も海外戦跡慰霊巡拝の写真「ネル」を掲示し英霊顕彰活動状況を、特別企画展示エリアでは滋賀県知事が来場され、熱心に見学頂きました。期間中にご来場頂いた皆様、ありがとうございました。



岡本勝一

新型コロナウイルス感染症拡大のリスクも万全な中、今年も万全な感染防止対策を講じて「第30回平和のよるこび展」が8月3日、10日（9日休館）まで一週間、守山市民ホールにて守山市・守山市遺族会共催で開催されました。通常展示エリアと特別企画展示エリアに分けて展示しました。

素直に描いた絵がこんなに残されていたとは、私自身は絵を描いた覚えはないので大変感動しました。

また、7日には三日月大造滋賀県知事が来場され、熱心に見学頂きました。期間中にご来場頂いた皆様、ありがとうございました。

3年ぶりに「春季戦没者慰霊祭」

近江八幡市遺族会会長 高木健三

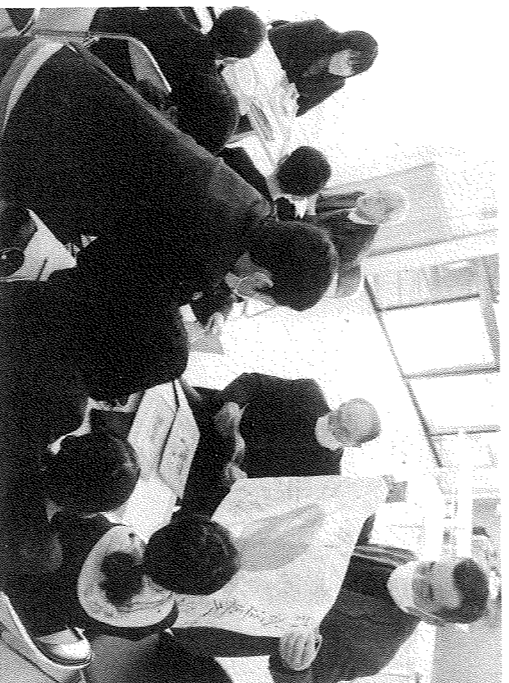
新緑の日牟礼神宮の境内にある慰霊塔前にて、5月20日に近江八幡市遺族会主催の「春季戦没者慰霊祭」が執行されましたが、今春はたつて3年もの間、取りやめになっていました。

戦後77年を迎え、改めて多くの尊い命が失われたことは永遠に忘れることはできません。あの忌まわしい戦争の記憶も年々風化されています。それなのに今も尚、世界で

地元小学校の平和学習会に出席して

愛荘町遺族会 加藤光保

この度、愛荘町立秦荘小学校の6年生社会科学習「戦争」に、戦争の関係者として名が出席させていた



愛荘町遺族会遺児8名が出席させていた。愛荘町立秦荘小学校の6年生社会科学習「戦争」に、戦争の関係者として名が出席させていた。愛荘町立秦荘小学校の6年生社会科学習「戦争」に、戦争の関係者として名が出席させていた。

は愚かな争いが続いていま

す。一日も早く収束し、平和な日々が戻ってくることを切に願ひ、そして祈ります。

私達は、ご英霊の尊い犠牲の上に、今日の平和と繁栄が保たれている事をしつかり心に刻み、恒久平和を祈念いたします。



おり、目で見た戦後の強烈な

印象です。私たちは必死の生活でありました。次第に日本の経済が活発に進展し、東京オリンピックの開催、新幹線の開通、名神高速道での物流など、飛躍的に物の生産が伸びるようになりました。

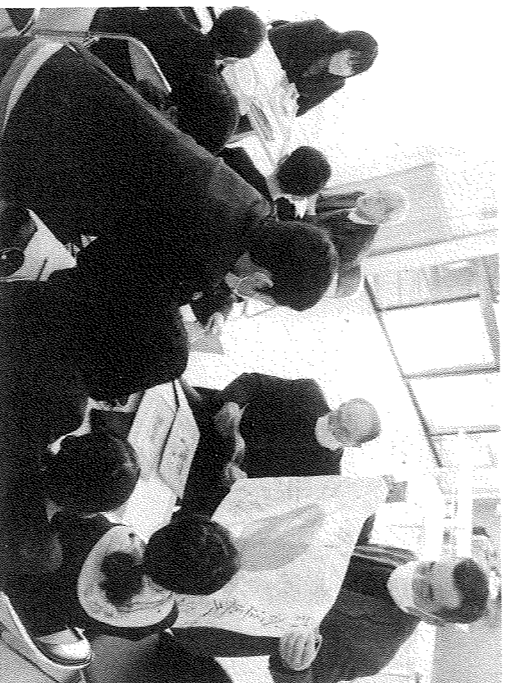
長年の戦争で多くの犠牲の上に得た、何不自由のない日々の生活ですが、今世界規模で温暖化の問題や海洋航行の行方、壊滅的兵器の実験報道等、私達の身近に迫る「平和」を考える諸課題が山積しているように思います。

国際連合を中心に「話し合い」で解決を図り、戦争への道は絶対に進んでほなりません。希望します。今回、私の父の死と戦争を振り返る機会になりました。感謝申し上げます。

地元小学校の平和学習会に出席して

愛荘町遺族会 加藤光保

この度、愛荘町立秦荘小学校の6年生社会科学習「戦争」に、戦争の関係者として名が出席させていた



愛荘町遺族会遺児8名が出席させていた。愛荘町立秦荘小学校の6年生社会科学習「戦争」に、戦争の関係者として名が出席させていた。

は愚かな争いが続いていま

す。一日も早く収束し、平和な日々が戻ってくることを切に願ひ、そして祈ります。

私達は、ご英霊の尊い犠牲の上に、今日の平和と繁栄が保たれている事をしつかり心に刻み、恒久平和を祈念いたします。



おり、目で見た戦後の強烈な

印象です。私たちは必死の生活でありました。次第に日本の経済が活発に進展し、東京オリンピックの開催、新幹線の開通、名神高速道での物流など、飛躍的に物の生産が伸びるようになりました。

長年の戦争で多くの犠牲の上に得た、何不自由のない日々の生活ですが、今世界規模で温暖化の問題や海洋航行の行方、壊滅的兵器の実験報道等、私達の身近に迫る「平和」を考える諸課題が山積しているように思います。

国際連合を中心に「話し合い」で解決を図り、戦争への道は絶対に進んでほなりません。希望します。今回、私の父の死と戦争を振り返る機会になりました。感謝申し上げます。



知事とともに滋賀県戦没者 英霊塔の清掃に想う

英霊顕彰部会副会長

角野 彰夫

7月下旬の暑い日、滋賀県

戦没者英霊塔（贍所公園）の

清掃を8月26日に実施する旨

で考慮されています。戦地

までは毎月の清掃でしたが、

今回久しぶりの英霊塔の清

掃、しかも三日月大告知事自

ら参加されることで、知

事が参加されることの意義と

が戦没者の犠牲の上にあるこ

とを一時なりとも忘れてはな

らず、深い追悼の意を表し、

きっかけになればどの思いで

参加させていただきました。

徴兵検査に合格した健康な

男子は、政府機関が発行する

赤紙一枚で戦地に赴かれまし

にしなければなりません。

私は、歴史はあ

まり得意ではない

科目でしたが、戦

没者遺族会に所属

させていただきます、

それと相まってS

NSの発達・普及

拡大があつて、過

去の戦争の歴史を

いとも簡単に見聞

きすることがで

きます。二度と戦

争を繰り返さない

ため、戦争の歴史

を振り返って何故

戦争をしなければ

ならなかったのか



皇子山陸軍墓地と贍所英霊塔の彼岸法要を9月15日に執り行いました。

この日は、大津市仏教会の会長、前阪良憲氏を導師としてお招きし、丁重にお経を唱

えていただきました。大津市からは市議会議長の伴孝昭氏にご参列いただき、滋賀県遺族会からは役員等が参列し、全員で合掌しました。

を考えるとともに、犠牲との清掃に自ら参加されまし

た。県民を思う気持ち、戦没者遺族の方々への哀悼の意の表明などがひしひしと伝わればなりません。

祭やおよそ10人の職員さんとして、今改めて次の時代を生き

た。県民を思う気持ち、戦没者遺族の方々への哀悼の意の表明などがひしひしと伝わればなりません。

祭やおよそ10人の職員さんとして、今改めて次の時代を生き

た。県民を思う気持ち、戦没者遺族の方々への哀悼の意の表明などがひしひしと伝わればなりません。

皇子山陸軍墓地と贍所英霊塔の彼岸法要

滋賀県遺族会事務局長

森野 愛子

今年も例年通り、近江八幡市遺族会安土支部において、追悼法要を終え、38柱の英霊に白い菊を献花させていただきます。その後、勝山住職（月建立）を清掃させていただきました。

遺族会委員も高齢化によりねんごろなるお言葉を頂戴した。

が、今回は地元選出議員さんや英霊に対して理解の深い方々がご参加下さり、老若男女を問わず、20数名で朝6時から清掃させていただきました。それより



前日の8月6日は広島に、9日長崎にかけている。現実と比べ、そのギヤツプは大きく、まさに勝てば官軍、勝者の論理そのものであつて、アメリカにここまで言われて黙っている日本死者の数は実に広島14万人、長崎7万4000人、一瞬起ささない反戦の誓いを立てた。しかも、戦争責任を感じ自信を喪失し、自虐的になる記念日になつてはいないか。

水原 一夫

近江八幡市遺族会安土支部長

浄敵院の忠魂碑清掃

以上、早期に戦争を終結させ、これ以上の犠牲を被下すことはない。胸を張つて、8月15日国家の尊厳や誇り、愛国心についてもう一度じっくり考える記念日にしてはどうかと思つた。

を防ぐ手段として、原爆投下は止むを得なかつたと正当化したのである。

64回目にして初めて、投下

遺族会に思う

東近江市遺族会
福島 睦一

「遺族の友第268号」に掲載された「遺族会と護國神社の明日を考える」の國松さんの記事に感動しました。常日頃、自分自身、東近江市の英霊にこたえる会の役割を任されて大変苦しんでいる最中です。

私は父の像の除幕式に何も知らずに出席して、県下にご我々遺族が一番悔しくまた許す事はできない。この事は、日本遺族会、英霊にこたえる会中央本部が結成当時から悲願であったと思います。

自分自身、年をとって行動することが大変困難になった今、もう時間が無い。最後の行動を政府に向かって起す行動は靖國神社の国家護持とまではないか。即ち、靖國神社問題が各県の護國神社の維持管理、しては各地の忠魂碑の維持にも影響をもたらすと思います。

大麥遺族にとって最悪の結果となりました。そこで國松さんのリーダーシップで昭和59年8月13日から15日にかけてた我々が父を思い行動を起こした時と全祭違うし、当に世帯盛りで家庭の仕事、勤務の臣の靖國神社公式参拝を願って50時間に及ぶ断食祈願が全国から132名、滋賀県からは國松善次、松井尚之、岸田孝一、今村敏生、中野源藏さんの5名が参加された。その時、内閣総理大臣の中曽根康弘さんの「君たちの要望はよくわかった。事故があつてはならない。私は必ず公式参拝を約束する」との伝言が藤波

宣房長官からあつて終了しました。そのあと、総理は他國に気を配って参拝されておりません。

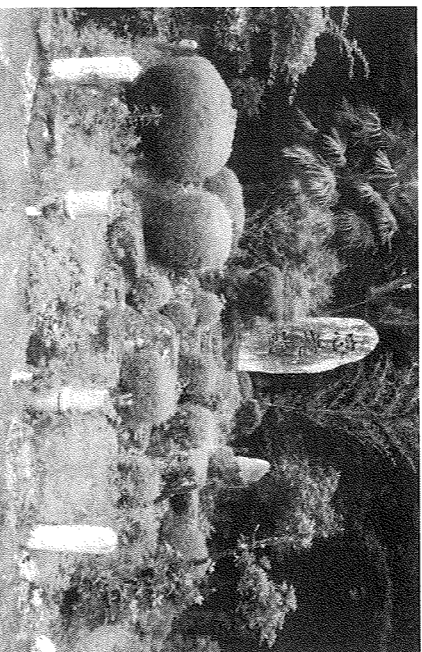
我々は言い続けてきた。「戦士は死んだら靖國でおお」と固く國との約束を信じ、戦場に散つていった筈だ。私は父の像の除幕式に何も知らずに出席して、県下にご我々遺族が一番悔しくまた許す事はできない。この事は、日本遺族会、英霊にこたえる会中央本部が結成当時から悲願であったと思います。

自分自身、年をとって行動することが大変困難になった今、もう時間が無い。最後の行動を政府に向かって起す行動は靖國神社の国家護持とまではないか。即ち、靖國神社問題が各県の護國神社の維持管理、しては各地の忠魂碑の維持にも影響をもたらすと思います。

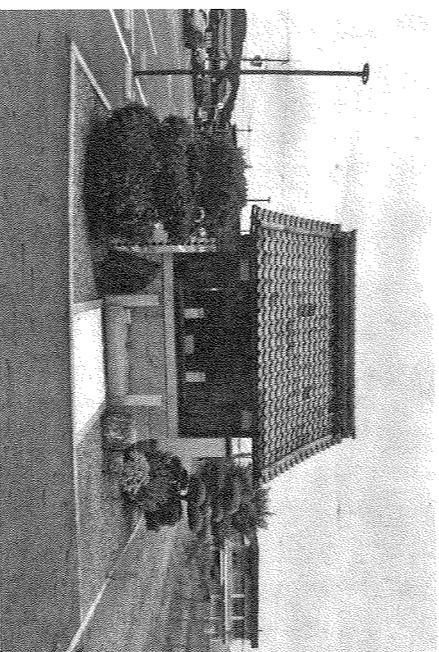
そのほか、遺族会の要望事項では未回収のご遺骨、特に海に残る戦艦のご遺骨の調査回収を早めて欲しい。特別弔慰金の拡大を願ひ脱会者を防ぎたい。一般社会の人達に今の平和の礎になられた英霊を顕彰する運動に参加を呼び掛ける行動が大切ではないでしょうか。

遺族会会員の高齢化と地区戦没者忠魂碑の維持管理の在り方

東近江市遺族会平田地区
平井 康博



忠魂碑の現況(光明寺境内)



忠魂碑移設前(平田コミュニティセンター駐車場内の顕霊堂)

私たちの郷土、旧平田村においては、明治・大正・昭和の三年代の戦役に殉じられた戦士をお祀りする忠魂碑を当

大戦後、教育施設(校庭)内霊も160余柱を数える。国このことから、昨年度から今年度にかけて、光明寺境内の忠魂碑を、現鎮魂堂敷地内(現平田地区コミュニティセンター敷地内)に移転して、今後は、世界の恒久平和を願う平田地区のシンボルとして維持管理を継続していく所存でございます。

「滋賀心援寄附」のお願い

滋賀県平和祈念館では、「滋賀心援寄附」を募っています。いただいたご寄附は、展覧事業や子ども達への平和学習支援に活用します。

「遺族の友」に同封のちらし(左写真)をご覧ください。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



中央にある地区公民館敷地内に建立されました(現在は同敷地内の鎮魂堂内)。

当時の建立趣意書をみる

と、「当平田地区出身の御英霊も160余柱を数える。国このことから、昨年度から今年度にかけて、光明寺境内の忠魂碑を、現鎮魂堂敷地内(現平田地区コミュニティセンター敷地内)に移転して、今後は、世界の恒久平和を願う平田地区のシンボルとして維持管理を継続していく所存でございます。

将来的には、これら先人の

【入館者ノート】

☆7月30日 湖西よりやつと参れました。4人の孫・子とお父さんに逢いに来ました。夫も8歳となり、一度お逢いしたいと時々言うだけれど、今日孫とつれら

メデイアの報道に目を覆いたくなる市民の犠牲の現状があります。遺族会の二度とあの思まわしい戦争の惨禍を繰り返してはならない。私たちのような遺族を出してはならないと

【来館者数】

7月 20人
6月 8人
※ノート記帳者のみ

◆滋賀護國神社 英霊顕彰館だより◆

8月 40人
終戦後77回のお盆を迎え、またま祭、英霊顕彰館に多くの方に訪れていただきました。

盆後の24日にロシアのクライナへの侵攻から半年を迎えました。この侵攻の先行きは見えず、本号が発行されました。(高島市女性)

☆8月15日 お父さんに会いました。実家は妹がいに来しました。私は8歳に

一日も早い、終結を望んでいます。

(広報 東郷重明)

恒久平和への精進努力を誓う

竜王町遺族会
西村 久二

「竜王町平和祈念式」が7月30日、竜王町公民館にて奉行されました。以下は、森岡武夫竜王町遺族会会長の「追悼の言葉」です。

本日、ここに第12回竜王町平和祈念式が挙行されるにあたり、戦没者遺族を代表し、謹んで追悼の誠を捧げます。私たち戦没者遺族にとりまして、忘れることのできない日を今年も迎えようとしていきます。先の大戦が終わり、平和がよみがえったあの終戦の日です。

祖国の平和と発展、家族の安泰を念じながら戦場に散り戦禍に倒れ、異郷の地において

ロシア・ウクライナ戦争の終結を願って

令和4年度東近江市戦没者追悼式が、7月16日愛東コロシアムで開催された。本年もコ



式典では市内13支部の遺族会長が登場し、菊花で飾られた慰霊碑前に戦没者3000柱の霊名簿を奉安した。東近江市長が「まもなく終戦から77年目を迎え、この長い歲月の経過とともに、戦争がもたらした悲惨な記憶が薄れつつあります。今、ウクライナではロシアの侵略により多く

の無垢な市民の命が奪われ、私たちに77年前

西村 久二

竜王町遺族会

て帰らぬ人となられたご英霊の無念、苦しみ、尊い命を捧げられたご英霊の皆様に思いを馳せる時、今なお尽きることもない悲痛な思いが胸にこみあげてまいります。

願みますと、私たち戦没者の遺族が歩んできた道は、癒やしがたい苦悩と長い試練の年月でありましたが、喜びは分かち合い、悲しみは共に痕を流し、助け合い、励まし合います。先の大戦が終わり、平和がよみがえったあの終戦の日です。

今日、ここに改めて参りました。今日の平和と繁栄は、諸英霊の尊い犠牲の上に築かれて

いることを深く胸に刻み、決意を新たにし、

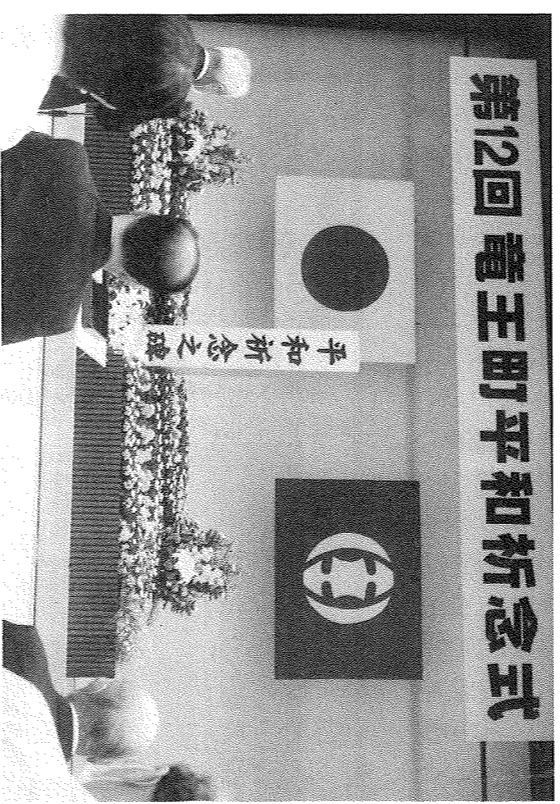
して忘れてはなりません。現在、私たちが心豊かに日々無事生かされていることへの平和の享受に心からの御礼と、ご加護に深く感謝の誠を捧げ、ご英霊のご冥福を衷心より祈り申し上げます。

戦後77年が経つ今年、世界ではロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻の勃発など、平和を希求する私たちが、悲しみは共に痕を流し、助け合い、励まし合います。先の大戦が終わり、平和がよみがえったあの終戦の日です。

今日、ここに改めて参りました。今日の平和と繁栄は、諸英霊の尊い犠牲の上に築かれて

の惨禍を呼び起こすものであります。今こそ、互いを思いやる利他の気持ちや倫理観の醸成が必要ですよ」と述べられた。追悼の言葉が西澤東近江市議長、知事代理井上氏、山県県遺族会長から手向けられ、松浦会長からは「2月に始まったロシアのウクライナへの侵略にかつての戦争の惨禍が重なり、心を痛めている。平和という普遍的な人類の願いを市民全体に広げ、深めることが私たちの大きな使命だ」と誓った。来賓紹介に続き、参加者全員が献花した。

次世代作文発表では、愛東中学校生徒代表の丸山さんと村山さんが校外学習で訪れた滋賀県平和祈念館での館員の解説や展示品を見たことから「当時の子供たちは勉強さえ



できず苦労した。今の時代は何と素敵なことかと思つた。ここを訪ねるまではこのような悲惨な戦争があつたことさえ、学校でも家でも聞くことはあまりなかった。これから私は一人ひとりが戦争や空襲があつたことを伝えていきたい」と発表された。

最後に「平和は私たち自身がつくり出すものです。恒久な平和を実現するために、人と人がお互いの存在を認め合ひ、尊重し合うことで、平和で希望に満ちた未来を創つて行く」との「平和の誓い」の発表で締めくくられた。

追悼式終了後、会場別室で「令和4年度英霊にこたえて、令和4年度英霊にこたえて」を東近江支部通常総会が主催され、諸議案が採択された。

「平和の誓い」を東近江支部通常総会が主催され、諸議案が採択された。

「平和の誓い」を東近江支部通常総会が主催され、諸議案が採択された。

二度と悲惨な歴史を繰り返さぬよう、恒久平和になお一層精進努力することをお誓い申し上げ、併せてご英霊た

た。その後、献花を行いました。

8月21日、高島市安曇川公民館ふじきのホールにおいて、「令和4年度高島市戦争犠牲者を追悼し平和を誓う市民の集い」が開催されました。福井正明高島市長はじめご来賓をお迎えし、多数の遺児の方々やそのご家族の姿が

福井市長からは式辞をいただきました。日本の歴史は、南方の西部ニューギニアで戦死いたしました。暑さと疲労と飢えとマラリアで亡くなつたと聞くたびに、祖父はどれほど日本に帰りたいかと思つたかと思つた。

戦後の時代を働き抜いて今の平和と繁栄の時代を築いてくださった私たちの親の世代の方々には感謝の心を忘れず、私は大切なことを子や孫の世代に伝えていきたいと心新たにいたしました。



竹井昌夫 高島市遺族会会長

高島市戦争犠牲者を追悼し平和を誓う市民の集い

高島市戦争犠牲者を追悼し平和を誓う市民の集い

高島市戦争犠牲者を追悼し平和を誓う市民の集い

宿字になる! 本になる!

「自分史」「家族史」「戦地からの書簡」記録として子孫に残しませんか?

—あなたの文章が—

初めの方もプロがサポート! 少数数の注文もOK!
お問い合わせ・お申し込み
お問合わせ先

京都新聞印刷 商業印刷部
(平日 午前10時～午後5時)
075-241-5436
katsufumi-kawada@mb.kyoto-np.co.jp